

## 令和7年度 事業計画

健康保険及び厚生年金保険等、社会保険制度の普及発展・広報及び事業の円滑な運営に寄与するとともに、被保険者とその被扶養者の健康と福利の増進を図ることを目的として、次の各種事業を積極的に推進する。

### 1 社会保険制度の普及広報

(1) 社会保険制度の普及と円滑な事業運営に寄与するため、日本年金機構県内各年金事務所並びに全国健康保険協会（協会けんぽ）千葉支部と連携し、年金・医療保険制度等について、両機関からの最新の情報や当協会事業の広報等を掲載した機関誌「社会保険ちば」を年4回発行するとともに、その内容により一層の充実を図り、制度の周知に努める。

また、当協会ホームページにおいても、電子版機関誌「月刊社保ちば」を毎月更新し、社会保険制度や当協会事業等の最新情報の周知に努める。

(2) 健康保険、年金保険制度の周知を図るため、関係図書等の作成配付により、会員の各種届出請求事務等の適正化を推進するとともに、関係図書等について、県内各年金事務所並びに協会けんぽ千葉支部にも提供し、円滑な事業運営に寄与する。

(3) 会員事業所へ直接出向いて、集団や個別で行う医療や年金に関する相談事業を実施し、被保険者等に社会保険制度の周知を図る。

(4) 健康保険、年金保険制度等に関する講習会を開催し、社会保険制度の周知を図る。

(5) 健康保険における適切な保険診療について、機関誌等に関係記事を掲載するなど、被保険者及び被扶養者に周知し、医療費の適正化に寄与する。

(6) 社会保険制度の推進と事業の円滑な運営に寄与するため、関係各機関及び関係団体と連携を図る。

### 2 諸届用紙等の作成配布

社会保険関係諸届用紙並びに各種請求書を作成し配布する。

### 3 保健事業

被保険者及び被扶養者の心と体の健康づくり事業の充実を図り、これを奨励するため、次の事業を実施する。

#### (1) 体育奨励事業

次の施設で利用可能なボウリング利用補助券の配付を行う。

- ・アサヒボウリングセンター（千葉市中央区）

#### (2) 各種レクリエーション事業

① 次の県内外レジャー施設の入場料割引券の配付を行う。

- ・蓮沼ウォーターガーデン（7月から9月）
- ・千葉こどもの国Kids Dom（通年）
- ・空の湯（通年）
- ・のだ温泉ほのか（通年）\*

② 季節毎のレクリエーション事業

季節毎に行っている、次のレクリエーション事業の参加者の拡大を図り、事業の充実に努める。

- ・潮干狩り（木更津江川海岸：4月から7月）
- ・ブルーベリー狩り（松戸市：6月から8月）
- ・梨・ぶどう狩り（鎌ヶ谷地区・香取地区：8月から9月）
- ・苺狩り（山武市・船橋市：12月から翌年5月）

#### (3) その他事業

写真コンテスト

作品募集：令和7年12月から令和8年1月

結果発表：令和8年3月

### 4 協力助成事業

(1) 日本年金機構県内各年金事務所と連携を図り制度の事業運営に寄与する。

(2) 協会けんぽ千葉支部と連携を図り制度の事業運営に寄与する。

(3) 千葉県年金委員会連合会並びに各年金委員会事業に協力する。

### 5 保養施設

#### (1) 契約保養施設の開設

以下の6施設と契約し、利用者への助成を行う。

- ① 千葉県鴨川市 「鴨川シーワールドホテル」

- ② 千葉県館山市 「おさしみの宿たろべ」
  - ③ 宮城県大崎市鳴子温泉 「鳴子やすらぎ荘」
  - ④ 神奈川県足柄下郡箱根町 「箱根嶺南荘」
  - ⑤ 群馬県渋川市赤城町 「ヘルシーパル赤城」
  - ⑥ 静岡県焼津市 「やいづマリンパレス」
- ※ 上記以外の施設について拡充を検討する。

## (2) 冬山の家開設

冬季における体育奨励事業の一環として被保険者等の健康の保持増進を図るため、スキーシーズン（12月中旬から翌年3月）に臨時保養施設として、「ホワイトハウスマスエン」（新潟県南魚沼市石打）に冬山の家を開設する。

## 6 協会事業等の充実

- (1) 協会事業の広報の充実を図るとともに、新規社会保険適用事業所等に対し、「千葉県社会保険協会のご案内」等を送付し、新規会員の拡充を図る。
- (2) 会費未納入会員に対する会費納入のお願いを複数回実施し、安定した会費収入を確保する。
- (3) 会費納入の際の利便性を向上させるため、口座振替未実施の会員事業所に対し広報を実施し、口座振替実施件数の増加に努める。
- (4) 当協会ホームページに会員専用ページを設け、会員限定サービス等の充実に努める。
- (5) 会員の会費納入の利便性を考慮し、コンビニエンスストアでの会費納入に対応した会費管理システムの導入について検討する。
- (6) 協会事業内容の充実を図る観点から、収益事業にも積極的に取り組み、収益の拡充を目指す。